

## 平成28年度第1回学校給食センター運営審議会会議録

1. 日時	平成28年7月28日(木) 午後1時00分から午後2時00分まで
2. 場所	榎浜公民館
3. 出席者	学校給食センター運営審議会委員11名
4. 事務局	中馬教育長、小野教育部長、久行教育部次長、 武居学校給食課長、各学校給食センター所長7名ほか
5. 傍聴者	なし

### 1 開会

### 2 辞令交付(交代委員)

教育長から、新委員12名(欠席者5名)に委嘱状を交付

任期:平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

### 3 教育長あいさつ

### 4 自己紹介

### 5 議題

#### (1) 平成27年度学校給食の運営状況について

・事務局から資料に沿って説明

・質疑応答

【委員】

なぜ決算見込額なのか。

決算見込額と決算額で金額が異なることはないのか。

【事務局】

平成27年度の会計は、平成28年5月31日に出納閉鎖されており、これ以降、金額が増減することはない。今回の表記が決算額となるのは、11月上旬に予定されている市議会で平成27年度決算の認定をいただいたあとになる。

## (2) 平成28年度学校給食の運営概要について

- ・事務局から資料に沿って説明

### ◎補足説明

#### 【事務局】

前回の会議のときに質問があった、徳山西と新南陽が当日焼きパンから前日焼きパンに変更となってパンの残渣率の増減について回答する。前日焼きパンに変更となった月以降パンの残渣率は増加していたが、ジャムや食べやすい丸パンを増やすなど栄養職員が献立の工夫をしたことで、パンの残渣率は減少傾向にあると考えている。

- ・質疑応答 なし

## 6 その他

- ・（仮称）西部地区学校給食センターの整備計画について

#### 【委員】

保健所に相談等をされると思うので、（仮称）西部地区学校給食センターの設計や建設等の日程がわかれば教えてほしい。

#### 【事務局】

これからPFI導入可能性調査をするので整備手法は決定していないが、PFIを導入し建設する場合は、平成29年度末頃には実施設計に取り組むことができるのではないと思う。調査の結果、市が建設することとなった場合は、日程が変更になる。いずれにしても、保健所には事前に協議をさせていただくことになる。

- ・異物混入について

#### 【委員】

昨年度は県内でも突出して異物混入が発生していた。今年度は重篤な異物混入もないようだ。髪の毛や小さい虫が混入したこと、学校給食センター内で未然に防げた事例があったこともきいている。実際、昨年度と今年度でどのくらいの件数が減っているのか。

#### 【事務局】

他の自治体ごとに異物混入の基準が異なるので、他市と比較できる件数ではないが、平成27年度6月末時点では47件、今年度6月末は27件で、前年度の同時期と比較して20件減っている。

**【委員】**

学校給食センター等が異物混入を防ぐために努力し、件数が減っている具体的な要因を保護者に知らせることも、安心・安全な給食を提供することになる。

・給食費（不納欠損）について

**【委員】**

将来的に、市が直接保護者から給食費を徴収することはできないか。

**【事務局】**

児童・生徒の家庭事情などのこともあり、学校の協力がなければ、未納となった給食費の徴収は難しいように思う。しかし、教職員の業務の負担軽減、適正化などを考えると市が直接徴収することも検討しなければとも思う。

・栄養教諭の対応について

**【委員】**

学校栄養職員の所属長は給食センター所長、栄養教諭の所属長は学校長であり、職務内容も異なる。栄養教諭が勤務しやすいよう、協力してほしい。

7 閉会